



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社Orchestra Holdings 上場取引所 東  
 コード番号 6533 URL <https://orchestra-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 慶郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 五代儀 直美 (TEL) 03(6450)4307  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	5,786	17.2	383	△54.9	394	△55.2	202	△58.6
2022年12月期第2四半期	4,935	—	851	24.9	879	27.1	489	11.9

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 328百万円 (△45.0%) 2022年12月期第2四半期 596百万円 (32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	20.64	20.35
2022年12月期第2四半期	49.93	48.91

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、同連結累計期間の売上高については、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	13,813	5,981	39.4
2022年12月期	11,410	5,735	45.4

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 5,437百万円 2022年12月期 5,180百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	10.8	1,150	△14.9	1,150	△17.9	705	△17.4	71.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	9,817,800株	2022年12月期	9,811,400株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	97株	2022年12月期	97株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	9,815,034株	2022年12月期2Q	9,796,506株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

技術進展が進むIT分野では、少子高齢化が進む中、今後IT人材不足がますます深刻化し、2030年には約45万人までIT人材の不足規模が拡大するとの推計結果が出ております。(出所:経済産業省委託事業「IT人材需給に関する調査」)

また、デジタルトランスフォーメーション(DX)のトレンドが進展する中、生産性の向上や業務の効率化を目的にクラウドファースト戦略を実行する企業は引き続き増加傾向となっております。加えて、企業が従来型ITからクラウドへ移行するクラウドマイグレーションは、対象システム領域の多様化が顕著となっており、WEBシステムや情報系システムから基幹系システムへと対象システム領域が拡大しております。2022年の国内パブリッククラウドサービス市場規模は前年比29.8%増の2兆1,594億円になると見込まれており、また2021年～2026年の年間平均成長率は20.8%で推移して、2026年の市場規模は2021年比2.6倍の4兆2,795億円になると予測されております。(出所:IDCJapan株式会社「国内パブリッククラウドサービス市場予測、2022年～2026年」)

デジタルマーケティング領域においては、2022年のインターネット広告市場が3兆912億円(前年比14.3%増:株式会社電通発表)となりました。2兆円を超えた2019年からわずか3年で約1兆円増加しており、広告市場全体の成長を後押しする存在となっております。

このような環境のもと、当社グループのデジタルトランスフォーメーション事業においては人材確保とIT技術の教育により、開発体制強化に努めてまいりましたが、営業や中堅エンジニアのリソースが不足しており、事業の構造を改革するため、営業の体制強化、セールスフォース社との関係性強化、中堅エンジニア層強化による品質向上に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間において、人・組織の最適化、営業・デリバリーの仕組み化を行い、初期の改革のフェーズを脱しました。デジタルマーケティング事業においては、主力サービスである運用型広告を中心に引き続き拡販を進めるとともに、これまでにM&Aした企業の成長を取り込むことで、デジタルマーケティング事業の成長を後押ししてまいりました。その他の事業では、プラットフォーム事業における新規ユーザー獲得のためのプロモーション施策を行うほか、新規事業への成長投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,786,218千円(前年同四半期比17.2%増)、営業利益383,727千円(前年同四半期比54.9%減)、経常利益394,094千円(前年同四半期比55.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益202,544千円(前年同四半期比58.6%減)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ① デジタルトランスフォーメーション事業

当事業においては、事業開始からM&Aを推進し、同時にIT人材の採用を行うことで開発体制の拡充を進めてまいりました。IT利活用の多様化・高度化に伴い拡大するIT需要を取り込み、各種Webシステム開発、スマホアプリ開発、クラウドインテグレーション等の案件を受注しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,556,677千円(前年同四半期比5.0%増)、セグメント利益(営業利益)は、122,023千円(前年同四半期比55.2%減)となりました。

#### ② デジタルマーケティング事業

当事業においては、インターネット広告市場が堅調に伸長する環境のもと、主力サービスである運用型広告を中心に、既存取引先からの受注額の増額や新規取引先の獲得を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,779,677千円(前年同四半期比35.1%増)、セグメント利益(営業利益)は、1,020,459千円(前年同四半期比3.4%減)となりました。

#### ③ その他

その他の事業においては、「チャットで話せる占いアプリウララ」を主力としたプラットフォーム事業や、タレントマネジメントシステム「スキルナビ」の開発・販売、新規事業等に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は511,608千円(前年同四半期比0.5%減)、セグメント損失(営業損失)は49,960千円(前年同四半期は23,413千円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて2,403,047千円増加し、13,813,121千円となりました。主な要因は、のれんが1,716,667千円、現金及び預金が814,572千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて2,156,307千円増加し、7,831,203千円となりました。主な要因は、長期借入金が1,506,092千円、1年内返済予定の長期借入金が305,083千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて246,740千円増加し、5,981,918千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が202,544千円増加した一方で、剰余金の配当により利益剰余金が88,301千円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ763,106千円増加し、3,830,616千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,053,555千円の収入(前年同期325,419千円の支出)となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の減少308,609千円、法人税等の還付399,207千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,224,641千円の支出(前年同期573,234千円の支出)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,039,476千円、投資有価証券の取得による支出158,560千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,933,611千円の収入(前年同期413,322千円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,200,000千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期連結業績予想につきましては、当四半期の業績を踏まえ、2023年2月14日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、2023年8月14日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,016,381	3,830,954
受取手形、売掛金及び契約資産	3,317,823	3,232,739
仕掛品	19,744	18,683
預け金	319,653	297,039
その他	602,387	247,919
流動資産合計	7,275,989	7,627,336
固定資産		
有形固定資産	646,721	647,677
無形固定資産		
のれん	1,964,386	3,681,054
その他	78,265	73,940
無形固定資産合計	2,042,652	3,754,994
投資その他の資産	1,444,710	1,783,111
固定資産合計	4,134,083	6,185,784
資産合計	11,410,073	13,813,121
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,397,879	2,474,583
短期借入金	388,000	603,000
1年内返済予定の長期借入金	297,516	602,599
未払法人税等	321,688	241,844
未払消費税等	166,772	117,258
賞与引当金	25,907	27,337
その他	787,679	910,880
流動負債合計	4,385,443	4,977,503
固定負債		
長期借入金	1,023,090	2,529,182
その他	266,362	324,517
固定負債合計	1,289,452	2,853,699
負債合計	5,674,895	7,831,203
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	202,843	207,431
資本剰余金	1,687,375	1,691,443
利益剰余金	2,890,970	3,005,213
自己株式	△102	△102
株主資本合計	4,781,087	4,903,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	404,322	535,735
為替換算調整勘定	△1,173	△1,984
その他の包括利益累計額合計	403,148	533,751
新株予約権	148,210	144,577
非支配株主持分	402,731	399,604
純資産合計	5,735,178	5,981,918
負債純資産合計	11,410,073	13,813,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,935,225	5,786,218
売上原価	2,454,095	2,915,611
売上総利益	2,481,129	2,870,607
販売費及び一般管理費	1,629,384	2,486,879
営業利益	851,744	383,727
営業外収益		
受取利息及び配当金	260	28
補助金収入	16,538	1,539
不動産賃貸料	17,692	17,202
その他	2,586	9,139
営業外収益合計	37,078	27,910
営業外費用		
支払利息	1,916	4,854
支払手数料	3,684	7,335
減価償却費	3,416	3,446
その他	—	1,907
営業外費用合計	9,018	17,543
経常利益	879,804	394,094
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8,099
固定資産除却損	—	2,008
特別損失合計	—	10,108
税金等調整前四半期純利益	879,804	383,985
法人税、住民税及び事業税	320,731	154,562
法人税等調整額	30,684	31,350
法人税等合計	351,416	185,912
四半期純利益	528,388	198,072
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	39,279	△4,471
親会社株主に帰属する四半期純利益	489,109	202,544

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	528,388	198,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,891	131,412
為替換算調整勘定	△1,642	△1,136
その他の包括利益	68,249	130,276
四半期包括利益	596,638	328,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	557,831	333,144
非支配株主に係る四半期包括利益	38,806	△4,795



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	879,804	383,985
減価償却費	13,567	29,692
のれん償却額	88,738	168,151
固定資産除却損	—	2,008
投資有価証券評価損益(△は益)	—	8,099
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,431	△23,132
受取利息及び受取配当金	△260	△28
支払利息	1,916	4,854
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△180,012	308,609
棚卸資産の増減額(△は増加)	12,464	962
預け金の増減額(△は増加)	△50,402	△28,823
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,798	278,904
仕入債務の増減額(△は減少)	162,901	16,239
未払消費税等の増減額(△は減少)	△147,662	△79,812
その他の流動負債の増減額(△は減少)	19,936	△83,023
その他	△1,745	△8,717
小計	766,016	977,972
利息及び配当金の受取額	260	28
利息の支払額	△2,030	△5,808
法人税等の支払額	△1,089,665	△317,843
法人税等の還付額	0	399,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	△325,419	1,053,555
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△69,942	△158,560
有形固定資産の取得による支出	△23,588	△21,933
貸付けによる支出	△115,000	△1,500
敷金及び保証金の差入による支出	△42,229	△27,984
敷金及び保証金の回収による収入	4,907	25,675
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△253,409	△2,039,476
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	12,070	—
事業譲受による支出	△85,000	—
その他	△1,043	△861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△573,234	△2,224,641
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	36,000	215,000
長期借入れによる収入	—	2,200,000
長期借入金の返済による支出	△168,120	△399,897
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,039	5,542
非支配株主への払戻による支出	△204,276	—
配当金の支払額	△78,161	△88,183
その他	195	1,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△413,322	1,933,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,602	580
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,310,373	763,106
現金及び現金同等物の期首残高	4,958,002	3,067,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,647,628	3,830,616

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

2023年4月28日付で株式会社ヴェスの全株式を取得したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デジタルト ランスフォー メーション 事業	デジタル マーケティ ング事業	計				
売上高							
クラウドインテグ レーション	609,529	-	609,529	-	609,529	-	609,529
システムソリュー ション	1,806,531	-	1,806,531	-	1,806,531	-	1,806,531
運用型広告等	-	1,119,955	1,119,955	-	1,119,955	-	1,119,955
制作・SEO等	-	901,634	901,634	-	901,634	-	901,634
その他	-	-	-	497,575	497,575	-	497,575
顧客との契約から生 じる収益	2,416,060	2,021,590	4,437,650	497,575	4,935,225	-	4,935,225
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,416,060	2,021,590	4,437,650	497,575	4,935,225	-	4,935,225
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,126	35,607	53,734	16,542	70,276	△70,276	-
計	2,434,186	2,057,197	4,491,384	514,117	5,005,501	△70,276	4,935,225
セグメント利益又は損 失(△)	272,596	1,056,836	1,329,432	△23,413	1,306,019	△454,274	851,744

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラットフォーム事業、タレントマネジメントシステムの開発・販売、新規事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△454,274千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デジタルトランスフォーメーション事業	デジタルマーケティング事業	計				
売上高							
クラウドインテグレーション	488,762	-	488,762	-	488,762	-	488,762
システムソリューション	2,042,051	-	2,042,051	-	2,042,051	-	2,042,051
運用型広告等	-	1,332,664	1,332,664	-	1,332,664	-	1,332,664
制作・SEO等	-	1,426,515	1,426,515	-	1,426,515	-	1,426,515
その他	-	-	-	496,224	496,224	-	496,224
顧客との契約から生じる収益	2,530,813	2,759,180	5,289,993	496,224	5,786,218	-	5,786,218
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,530,813	2,759,180	5,289,993	496,224	5,786,218	-	5,786,218
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,864	20,497	46,361	15,383	61,744	△61,744	-
計	2,556,677	2,779,677	5,336,355	511,608	5,847,963	△61,744	5,786,218
セグメント利益又は損失(△)	122,023	1,020,459	1,142,483	△49,960	1,092,522	△708,795	383,727

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラットフォーム事業、タレントマネジメントシステムの開発・販売、新規事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△708,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当第2四半期連結会計期間より、各報告セグメントの経営成績をより適切に評価するため、従来、各報告セグメントへ配分していた取得関連費用を、報告セグメントに帰属しない「調整額」として表示する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき組み替えたものを開示しております。

第2四半期連結会計期間以降に報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行った理由は、当第2四半期連結会計期間において株式会社ヴェスの株式を取得する企業結合を行った際に、従前と比べて多額の取得関連費用が発生したことに伴い、各報告セグメントの経営成績の評価方法を見直したことによります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「デジタルトランスフォーメーション事業」セグメントにおいて、株式会社ヴェスの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが1,403,021千円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。